

令和4年度 会派「豊義会」管外視察報告書

日 時	2022年7月18日(月) 午後3時～午後5時
視 察 先	和歌山県田辺市
調査項目	田辺市熊野ツーリズムビューロー(DMO)の取り組みについて
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 組織概要</li> <li>2. コロナ禍での状況・対応</li> <li>3. インバウンドでの取り組み</li> <li>4. 関係機関との連携</li> <li>5. 今後の方針・施策</li> <li>6. インナープロモーション</li> </ol> <p>(視察者：岡本昭治・浅田徹・芹澤正志・森垣康平・米田達也・小森弘詞・前田敦司)</p>
所 感	<p><b>【組織概要】</b> 平成17年の田辺市の合併に伴い、翌18年4月、田辺市内の観光協会を構成団体として設立された、官民共同の観光プロモーション団体で、職員は21名(うち、田辺市からの出向は4名：田辺市からの委託料は3570万円)</p> <p><b>【コロナ禍での状況・対応】</b> 2019年度には、5億2千万円以上あった旅行業取り扱い額が、コロナの影響により2020年度には7千万円にまで激減した。職員を外部団体に出向したり、多額の借入れをすることにより、職員の雇用は守っている。</p> <p><b>【インバウンド施策】</b> 翻訳も日本文化も分からない旅行者を念頭に、施策を展開している。(表記、看板の統一化・バス時刻表、飲食店メニューの翻訳支援・国、県、他地域との共同プロモーション・ガイド育成等)</p> <p><b>【関係機関との連携】</b> 構成団体が、観光協会・田辺市となっているため、連携は取れている。また、海外旅行社60社と提携している。</p> <p><b>【今後の方針・施策】</b> 熊野古道というコンテンツがあるため、コロナの制限さえなくなればインバウンドは復活すると考えているので、特に反転攻勢の施策は準備していない。訪問者の85%がインバウンドという状況は、今後は50%ぐらいにはしていきたい。</p> <p><b>【インナープロモーション】</b> 観光業者を中心に、様々な研修を開催している。(語学・文化・おもてなし等)ただ最近では、コロナ禍で延期・中止が増えている。</p> <p>豊岡観光イノベーションも設立の際に、参考にしただけあり組織としては非常に似た団体である。ただ、世界遺産熊野古道というキラーコンテンツを有しているので規模が非常に大きい。インバウンド施策も非常に参考になると思うが、それ以上にコロナ禍でも地元雇用を守る取り組みには感銘を受けた。今後も、豊岡のインバウンド施策策定において指針となり得る団体と感じた。</p>